

授業科目名	体育実技の指導法(2100249)		
時間割名	体育実技の指導法(11113)		
時間割担当	森一弘		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・1		

授業の目標・概要

小学校で行う集団的運動及び個人的運動（バレーボール、バスケットボール、体ほぐし、器械体操等）の実技指導能力の育成をめざした授業展開を実践する。各種のスポーツの実践をとおして、運動能力や身体機能を高めるとともに、スポーツをする楽しさ、さらには喜びを味わうことができるようにする。また、協調性・公正さ・責任感などの態度を育成し生涯にわたる豊かなスポーツライフが構築できる指導のあり方を探る。

学習の到達目標

授業のねらいは、小学校体育科の各運動領域の授業づくりの基本的な考え方と進め方を模擬授業を通して理解することである。到達目標は、「体づくり運動」「器械運動」「陸上運動」「ボール運動」「表現運動」の各領域に焦点を当て、具体的な指導の仕方を模擬授業を行いながら学んでいく。この中で、授業計画・実践・評価の授業プロセスを理解できる。

授業方法・形式

文部科学省の指導資料を参考にし、各領域の指導の仕方の概要をまとめていく。
各領域の運動の動きのポイントを文献などを通して調べ、指導案を作成し、模擬授業を実施する。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション（授業内容と進め方について）
- 第2回 指導資料の映像を視聴と文献から、各運動領域の指導の仕方をまとめる。1
- 第3回 指導資料の映像を視聴と文献から、各運動領域の指導の仕方をまとめる。2
- 第4回 運動の指導の仕方に焦点を当てた指導案を作成する。
- 第5回 2つのグループによる授業実践と授業分析を行う。1「体づくり運動」
- 第6回 前時の授業についての授業分析の報告と反省、ならびに授業づくりの課題整理をする。
- 第7回 2つのグループによる授業実践と授業分析を行う。2「器械運動」
- 第8回 前時の授業についての授業分析の報告と反省、ならびに授業づくりの課題整理をする。
- 第9回 2つのグループによる授業実践と授業分析を行う。3「陸上運動」
- 第10回 前時の授業についての授業分析の報告と反省、ならびに授業づくりの課題整理をする。
- 第11回 2つのグループによる授業実践と授業分析を行う。4「ボール運動」
- 第12回 前時の授業についての授業分析の報告と反省、ならびに授業づくりの課題整理をする。
- 第13回 2つのグループによる授業実践と授業分析を行う。5「表現運動」
- 第14回 前時の授業についての授業分析の報告と反省、ならびに授業づくりの課題整理をする。
- 第15回 授業実践を通しての指導法のポイントの整理を行う。

成績評価の基準

授業ごとのふりかえり、指導方法の記述と実践(40%)
提出レポート(60%)

準備学習・復習及び授

授業で扱う運動種目の内容やルールについて、事前に調べ、ワークシートにまとめる。また、授業後について、その運動種目の技能を身につけさせたり、高めさせる指導法についてレポートを作成する。

履修上のアドバイス

事前・事後の課題が多くなるため、主体的に調べたり、用具を作成したりすることが必要である。
動きやすい服装（体育の指導者としてふさわしい服装）で受講すること。
講義と実技を行うので、教室変更などの情報を確認しておくこと。

教材・教科書

文部科学省 小学校学習指導要領解説「体育編」（平成29年度告示）東洋館出版

参考書

「教師のための運動学」監修 金子明友 大修館書店
「マイネル スポーツ運動学」クルト・マイネル著 大修館書店
「学校体育実技指導資料」文部科学省